

2018年10月24日

**電通、外部専門家と連携し、クリエイティブ面を中心にスタートアップ企業を
応援するアクセラレーションプログラム「GRASSHOPPER」を開発
— 年2回実施、第1回は10月24日募集開始 —**

株式会社電通（本社：東京都港区、社長：山本 敏博）は、スタートアップ企業の成長をクリエイティブ面を中心に多角的に支援するアクセラレーションプログラム「GRASSHOPPER」（グラスホッパー、URL：<http://grasshopper.tokyo>）を開発しました。本日より参加スタートアップ企業の募集を開始します。

国内ベンチャーキャピタルの国内企業への投資額は2017年度に前年比19.9%増の1,266億円に達しています（一般財団法人ベンチャーエンタープライズセンター調べ）。大型の新規上場も相次ぎ、経済産業省がスタートアップ企業の海外進出を支援するJ-START UPを立ち上げるなど、多くの支援施策も行われています。その一方で、クリエイティブ面での課題を感じるスタートアップ企業が少なからず出現してきています。

当社はこうした状況を踏まえ、クリエイティブ面を中心にスタートアップ企業を支援し、起業家を取り巻くエコシステムに貢献していくことを目的に、独自のアクセラレーションプログラムを開発いたしました。プログラム名称の「GRASSHOPPER」には、バッタなどの意味から転じて、飛び立とうとする起業家を応援し、事業成長のお手伝いをしたい、という気持ちを込めています。

具体的には、クリエイティブ、ブランディング、UI/UX、PR、マーケティングなどに加え、事業計画、資本政策、法規への対応など幅広いプログラムとなっています。外部の専門家と連携して約3カ月間にわたるメンタリングを行い、その上で投資家や大企業の新規事業担当者に対してプレゼンテーションを行う機会「=デモデイ」を設定します。

一連のプログラム過程においては、当社社員がスタートアップ企業の担当プロデューサーとなり、大企業との協業・共創による新たな事業展開・開発の可能性を探ったり、当社の投資部門が独自の視点で投資を行ったりする仕組みを取り入れています。また、「GRASSHOPPER」専用のウェブメディアを創設し、コミュニティーの盛り上げを図っていく予定です。

第1回のスケジュールとメンター等は次のとおりです。

▽第1回のスケジュール：

2018年10月24日	募集開始
11月末	募集締め切り
12月～2019年3月	メンタリング
2019年3月下旬	デモデイ開催

▽メンター（敬称略）：

- ・テクノロジー：朴 正義 株式会社バスキュール 代表取締役
- ・ブランディング&PR：中村 洋基 PARTY クリエーティブディレクター／ファウンダー
- ・UI/UX：深津 貴之 株式会社 THE GUILD 代表
- ・マーケティング：彌野 泰弘 株式会社 Bloom&Co. 代表取締役
- ・資金調達：村田 祐介 インキュベイトファンド 代表パートナー
- ・起業：家入 一真 CAMPFIRE 代表取締役社長
- ・デジタルトランスフォーメーション：堀内 健后 トレジャーデータ株式会社 マーケティング担当ディレクター
- ・クリエイティブ：樋口 景一 株式会社電通 CDC ECD
菅野 薫 同 Dentsu Lab Tokyo ECD ほか
- ・法規：山辺 哲識 弁護士
- ・映像制作／デザイン：株式会社電通クリエイティブ X

▽ウェブメディア編集長／西村 真里子 株式会社 HEART CATCH 代表取締役

▽ロゴ：



以上

【本リリースに関する問い合わせ先】

株式会社電通 コーポレートコミュニケーション局 広報部
湊、升森 TEL：03-6216-8041

【GRASSHOPPER プログラムに関する問い合わせ先】

GRASSHOPPER Email：contact@grasshopper.tokyo